

令和 6 年度

今 治 市 桜 井 財 産 区
決 算 審 査 意 見 書

今 治 市 監 査 委 員

監 第 1 3 0 号

令和 7 年 9 月 8 日

今治市桜井財産区

今治市長 徳 永 繁 樹 様

今治市監査委員 木 原 盛 展

同 永 井 隆 文

令和 6 年度 今治市桜井財産区決算審査意見書の提出について

地方自治法第233条第2項の規定により、審査に付された令和6年度
今治市桜井財産区歳入歳出決算とその証書類を審査した結果、次のとおり
その意見書を提出する。

令和 6 年度 今治市桜井財産区決算審査意見書

1 審査の対象

令和 6 年度今治市桜井財産区歳入歳出決算

歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書

2 審査の期間

令和 7 年 6 月 26 日から 9 月 8 日まで

3 審査の着眼点及び実施内容

決算その他関係書類が法令に適合し、計数が正確であるかどうか、予算の執行状況が適正かどうかについて、関係諸帳簿、証書類と照合し、審査を実施した。

4 審査の結果

今治市監査基準に準拠し、審査を実施した結果、審査の対象となった決算、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、関係法令に適合して作成されており、計数は正確であり、予算執行についても適正であった。

5 審査の概要

(1) 決算規模

予算現額1,466万8千円に対し、歳入決算額は1,472万7千円（執行率100.4%、収納率100%）、歳出決算額は141万4千円（執行率9.6%）である。

歳入歳出差引残額1,331万3千円は、翌年度へ繰越している。

予 算 決 算 対 照 表

（単位 千円、％）

区 分	予算現額 (A)	調 定 額 (B)	決 算 額 (C)	予算現額 に対する 増減額又は 不用額	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)	令和5年度 決算額	対前年度増減	
								決 算 額	率
歳 入	14,668	14,727	14,727	59	100.4	100	15,116	△ 389	△ 2.6
歳 出	14,668		1,414	13,254	9.6		575	839	145.9
差 引	—		13,313				14,541	△ 1,228	△ 8.4

ア 歳 入

歳 入 決 算 状 況

(単位 千円、%)

区 分 款	予算現額 (A)	調 定 額 (B)	収入済額 (C)	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)	収入済額 構成比率	令和5年度 収入済額	対前年度増減	
								収入済額	率
使用料及び手数料	9	10	10	106.7	100	0.1	10	—	—
財 産 収 入	166	166	166	100.1	100	1.1	186	△ 20	△ 10.7
繰 越 金	14,492	14,541	14,541	100.3	100	98.7	14,919	△ 378	△ 2.5
諸 収 入	1	10	10	984.0	100	0.1	1	9	691.6
計	14,668	14,727	14,727	100.4	100	100	15,116	△ 389	△ 2.6

収入済額は、前年度と比較すると2.6%、38万9千円減少している。

これは主に、繰越金が37万8千円減少したためである。

収入済額の主なものは、繰越金1,454万1千円（収入済額に占める割合98.7%）、財産収入16万6千円（同1.1%）である。

イ 歳 出

歳 出 決 算 状 況

(単位 千円、%)

区 分 款	予 算 現 額 (A)	支 出 済 額 (B)	不 用 額	執行率 (B/A)	支出済額 構成比率	令和5年度 支 出 済 額	対前年度増減	
							支出済額	率
議 会 費	258	183	75	70.9	12.9	192	△ 9	△ 4.6
総 務 費	3,434	1,231	2,203	35.8	87.1	383	848	221.2
予 備 費	10,976	—	10,976	—	—	—	—	—
計	14,668	1,414	13,254	9.6	100	575	839	145.9

支出済額は、前年度と比較すると145.9%、83万9千円増加している。

これは主に腐食単管等撤去処分等の委託料が90万9千円増加したためである。

支出済額の内訳は、総務費123万1千円（支出済額に占める割合87.1%）、議会費18万3千円（同12.9%）である。

節別における主なものは、腐食単管等撤去処分の48万6千円等の委託料105万9千円、議員報酬の報酬18万円である。

(2) 財産に関する調書

ア 公有財産

土地は道路面積の錯誤の訂正により23.14㎡減少し、当年度末現在高は432.978.57㎡、建物は石風呂延床面積の錯誤の訂正により159.69㎡増加し、当年度末現在高は1,089.84㎡である。立木の推定蓄積量は45.17㎡で、当年度中の増減はない。

- (注) 1 金額は、原則として千円単位で表示し、単位未満は、四捨五入の上表示した。そのため差額又は合計額が一致しない場合がある。
- 2 比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入の上、表示した。そのため構成比については、合計が一致しない場合がある。